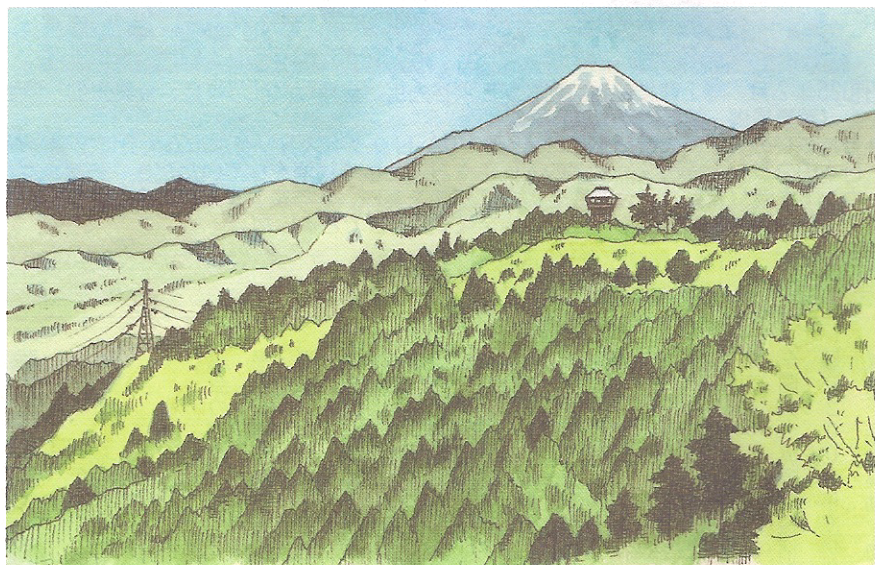


広陵



第39号 2010.7.20

神奈川県立秦野高等学校同窓会会報

《思い出のシリーズ》No.39



昭和25年2月 陸上競技部 前列左から渋谷先生、金持(かなじ)校長、金栗先生、桐生先生(写真提供:栗原重雄 高5回)

*金持校長の大学の先輩であり、第5回オリンピック・ストックホルム大会に出場した、日本のマラソン界の父・金栗四三先生をお迎えして講演をしていただき、一緒にグラウンドを走りました。金栗先生のお話が功を奏し、2年後、堂々、神奈川県駅伝競走で3位、関東駅伝大会で6位の成績を残すことができました。

思い出の記念写真を募集します。部活動、修学旅行、文化祭など、あなたの思い出の写真とコメントを事務局までお送りください。

同窓会会報第39号目次

表紙 題字 宮本 信義(中5回)

スケッチ「学校造林の跡地」

横溝 英一(中20回)

総会のご案内……………1

平成21年度総会報告 伊勢原支部……………1

平成21年度事業報告・決算報告……………2

平成22年度事業計画案・予算案……………3

ごあいさつ 同窓会会長・柳川一朗 校長・南 敏章……………4

支部だより……………5

秦中・秦高在職中の思い出……………7

広畑が丘 空晴れて 秦中・秦高に想う……………8

人物紹介 東京消防庁・小椋健司(高30回)……………10

同期会だより……………11

終身会費納入状況……………12

出身中学校別生徒数 表紙スケッチ……………13

部活動の記録……………14

全国大会派遣支援活動報告ほか……………15

母校2009年進学状況……………16

叙勲 春の異動 物故者……………18

総会へのお誘い

同窓会長 柳川一朗

平成22年度総会は、ホテルサンライフガーデンで平塚支部の皆様にご設置していただきました。会員各位のご参加をお願いします。

平成22年度 秦野高等学校同窓会

～ 総会のご案内 ～

日時 8月14日(土)
場所 ホテル サンライフガーデン
平塚市榎木町9番41号
TEL (0463) 21-7111

総会日程

受付 午前10時

講演 午前10時30分

「J1への道のり」

(株)湘南ベルマーレ

代表取締役 眞壁 潔 (高32)

◆21年度事業報告及び決算報告

◆22年度事業計画及び予算審議

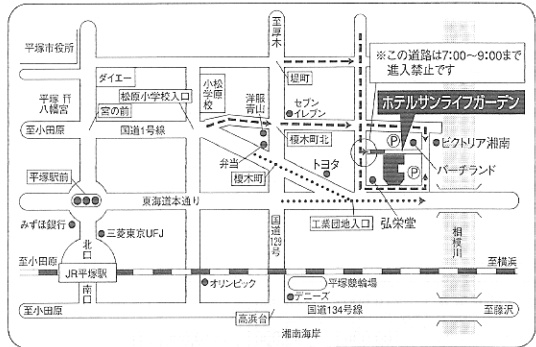
◆その他

*総会終了後、懇親会

●会費5,000円(当日納入)

●着席方式で自由席

●申し込み 会場準備の都合上、出席者は「卒業期」と「氏名」を平塚支部(0463)33-3121出縄まで



会場へのご案内

◆バス 平塚駅北口前ロータリー9番線乗り場
茅ヶ崎駅行き・馬入橋下車

◆シャトルバス 平塚駅北口前ロータリー

一般車乗降場発車時間 9:15 9:45 10:15 10:45 11:15

◆徒歩 平塚駅北口から約15分

平成21年度

総会報告

伊勢原支部

瀬戸洋四郎(高15回)

平成21年度同窓会総会は、8月22日(土)午後2時、伊勢原市民文化会館で92名の参加を得て開催。

梅原副会長の開会に始まり柳川会長のあいさつ、来賓として南校長先生からの祝辞をいただいた後、当支部長が議長となり議事進行を務めた。

まず平成20年度の事業報告・決算が提案され承認された。続いて平成21年度事業計画・予算の提案がなされ、質疑に入り、同窓会のホームページを立ち上げるべきだと言う貴重な意見があった。異議なく可決された。次に規約の一部改正について同窓会の名称を「広陵会」とすることが主なものなので全会一致で可決。追加

議案として本部役員理事について(平塚支部長交替による)提案があり全会一致で同意された。予定された全ての議案が滞りなく審議され、関副会長が閉会を宣言した。アトラクションは伊勢原市在住の盲目のアカーデイオン奏者熊坂栄弥氏による演奏。記念撮影懇親会へと続いた。



平成21年度決算報告

◎歳入の部

自 平成21年4月1日
呈 平成22年3月31日

| 項目 | 21年度予算額 | 21年度決算額 | 増 減 | 摘 要 |
|-------|-----------|------------|-----------|------------------------------------------|
| 前期繰越金 | 4,336,811 | 4,336,811 | 0 | |
| 終身会費 | 3,600,000 | 4,655,695 | 1,055,695 | 卒業生344人分 3,439,475 退会会員122人分1,216,220 |
| 受取利息 | 60,000 | 33,678 | △26,322 | 預金利息 |
| 繰入金 | 0 | 1,500,000 | 1,500,000 | 積立金より |
| 雑収入 | 0 | 4,500 | 4,500 | 名簿販売代金 |
| 合 計 | 7,996,811 | 10,530,684 | 2,533,873 | |

◎歳出の部

| 項目 | 21年度予算額 | 21年度決算額 | 増 減 | 摘 要 |
|----------|-----------|-----------|------------|---------------------|
| 会議費 | 260,000 | 259,000 | △1,000 | |
| 総会費 | 250,000 | 250,000 | 0 | 総会開催費用 |
| 役員会議費 | 10,000 | 9,000 | △1,000 | 役員会議、 幹事会飲物代 |
| 事業費 | 4,770,000 | 4,525,449 | △244,551 | |
| 支部育成費 | 270,000 | 270,000 | 0 | 7支部 |
| 同期会育成費 | 100,000 | 90,000 | △10,000 | 9件 |
| 在校生活動振興費 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | |
| 吹奏楽部助成費 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| 慶弔費 | 100,000 | 0 | △100,000 | |
| 会報発行費 | 2,800,000 | 2,693,832 | △106,168 | 広陵発行諸費 (印刷、発送料) |
| 校歌祭参加費 | 400,000 | 371,817 | △28,383 | |
| 事務費 | 200,000 | 242,782 | 42,782 | |
| 事務局費 | 160,000 | 215,970 | 55,970 | 歓送迎会(本部 役員・談当職員) |
| 通信費 | 30,000 | 11,270 | △18,730 | 会議通知等郵送代 |
| 印刷費 | 10,000 | 15,542 | 5,542 | 事務局印刷代 (コピー) |
| 予備費 | 2,766,811 | 0 | △2,766,811 | |
| 合 計 | 7,996,811 | 5,027,231 | △2,969,580 | |

| | | |
|-------------------------------------------------------------|------------|-------------------------|
| 一般会計繰入金(借入金)残高 | 3,000,000 | 同総会積立金よりの借入金(20年、121年分) |
| 同総会積立金残高(定期預金) | 31,500,000 | △1,500,000 前期比 |
| 以上により平成21年度の剰余金は下記の通りとなります。 | | |
| 収入実績－支出実績＝剰余金 | 10,530,884 | 5,027,231 |
| 剰余金5,503,453円には借入金累計の3,000,000円が含まれていますので、本剰余金は2,503,453円です | | |

平成21年度秦野高等学校同窓会の会計収支決算について、関係帳簿及び書類等を審査した結果、正確・公正に処理されていることを認めます。

平成22年5月29日

会計監査 清田宰宏 多田重雄

平成21年度事業報告

1 総 会

● 8月22日伊勢原市民文化会館 幹事支部伊勢原 出席者92名 アトラクション アコーデオンの演奏

2 役員会

● 4月28日 運営委員からの提言 第4回青春かながわ校歌祭に関する事

● 6月14日 幹事会への提出議案に関する事 その他

● 6月25日 会計監査

● 10月24日 同窓会運営に関する提言に関する事 報告事項

● 12月12日 提言に関する実施計画に関する事 報告事項

● 1月17日 ・提言に関する実施計画 ・全国大会派遣支援金に関する事 ・その他

● 2月27日 ・全国大会派遣支援金 ・組織体制に関する事 ・その他

● 3月20日 ・幹事会、総会に関する事 ・全国大会支援金実行委員会に関する事

3 幹事会

● 6月28日 26名出席 ・平成20年度事業・決算 ・平成21年度事業・決算 ・運営検討委員会からの提言に関する事

4 第24回伊勢原・秦野地区同窓会連絡協議会

● 7月26日 一の家 各校同窓会報告・意見交換 本部役員10名 副校長・教頭出席

5 会報「広陵」第38号全会員に配布

6 支部育成 7支部への育成

7 同期会育成 9同期会への祝金贈呈

8 在校生への活動支援

9 第4回青春かながわ校歌祭参加 10月10日 厚木市文化会館 同窓会員45名 生徒・職員20名参加

以上のとおり報告します。

平成22年8月14日

会長 柳川 一朗

会計 久保寺富男

会計 菊龍 光男

平成22年度予算(案)

◎歳入の部

自 平成22年4月1日
至 平成23年3月31日

| 項目 | 21年度決算額 | 22年度予算額 | 増 減 | 摘 要 |
|-------|------------|-----------|------------|----------------------------------------|
| 前期繰越金 | 4,336,811 | 5,503,453 | 1,168,642 | 前期剰余金より |
| 終身会費 | 4,655,695 | 3,900,000 | △755,685 | 当年度卒業生 2,900,000 OB終身会員1,000,000 |
| 受取利息 | 33,678 | 35,000 | 1,322 | 預金利息 |
| 繰入金 | 1,500,000 | 0 | △1,500,000 | 積立金よりの借入 |
| 雑収入 | 4,500 | 0 | △4,500 | |
| 合 計 | 10,530,684 | 9,438,453 | △1,092,231 | |

◎歳出の部

| 項目 | 21年度決算額 | 22年度予算額 | 増 減 | 提 要 |
|----------|-----------|-----------|-----------|--------------------------|
| 会議費 | 259,000 | 260,000 | 1,000 | |
| 総会費 | 250,000 | 250,000 | 0 | 総会諸経費 |
| 役員会議費 | 9,000 | 10,000 | 1,000 | 役員会議、 幹事会飲物代 |
| 事業費 | 4,525,449 | 4,770,000 | 244,551 | |
| 支部育成費 | 270,000 | 270,000 | 0 | 7支部 |
| 同期会育成費 | 90,000 | 100,000 | 10,000 | 同期会祝金 |
| 在校生活動振興費 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | |
| 吹奏楽部助成費 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| 慶弔費 | 0 | 100,000 | 100,000 | 祝金、弔慰金 |
| 会報発行費 | 2,693,832 | 2,800,000 | 106,168 | 広陵発行 (印刷、送送料) |
| 校歌祭参加費 | 371,617 | 400,000 | 28,383 | |
| 事務費 | 242,782 | 200,000 | △42,782 | |
| 事務局費 | 215,970 | 160,000 | △55,970 | 事務用消耗品 |
| 通信費 | 11,270 | 30,000 | 18,730 | 会議等通知郵送代 |
| 印刷費 | 16,542 | 10,000 | △5,542 | 諸会議等資料 コピー代 |
| 繰入金 | 0 | 3,000,000 | 3,000,000 | 20・21年分借入返済 (19年残に戻る) |
| 予備費 | 0 | 1,208,453 | 1,208,453 | |
| 合 計 | 5,027,231 | 9,438,453 | 4,411,222 | |

同窓会積立金残高 34,500,000 | 20・21年分繰入金(貸付分返済)(19年残に戻る)

注：今期収入予算3,935,000 繰越金を除く、今期支出予算5,230,000 借入金返済・予備費を除く、差額△1,295,000不足額

平成22年度事業計画(案)

- 総会・幹事会・役員会の開催
- 会報「広陵」第39号の発行
全会員に配布
- 第5回青春かながわ 校歌祭への参加
・開催日 平成22年9月25日(土)
・会場 神奈川県立青少年センター
- 支部育成と同窓会育成
7支部への育成費助成・事業費補助
- 在校生への支援と交流
・在校生への活動費助成
・全国大会派遣費助成
- 同窓会の諸運営の検討
・組織の見直し
幹事会・支部問題
・「広陵」の編集内容検討
・ホームページ開設の検討
- 近隣高校同窓会との交流
・秦野伊勢原学区同窓会
連絡協議会への参加
・近隣同窓会資料の収集

県立秦野高等学校同窓会本部役員名簿

| | | | |
|-------|---------------|--------------|------------|
| 【会長】 | 柳川一朗(秦野) | | |
| 【副会長】 | 飯尾美甫(東京) | 久保寺勇(茅ヶ崎・藤沢) | 関 恒久(平塚) |
| | 畑野公保(伊勢原) | 梅原福司(秦野) | 廣澤富正(小田原) |
| | 鈴木 正(南足柄) | | |
| 【支部長】 | 渋谷富治夫(秦野) | 杉崎幸正(小田原) | 瀬戸洋四郎(伊勢原) |
| | 久保寺 勇(茅ヶ崎・藤沢) | 出縄高昭(平塚) | 飯尾美甫(東京) |
| | 端山 昭夫(南足柄) | | |
| 【理事】 | 榎本圭治(秦野) | 永山孔昭(秦野) | 相原 彰(伊勢原) |
| | 久保寺富男(秦野) | 菊籠光男(伊勢原) | 青木利之(秦野) |

いあいさつ

見直しへ第一歩 苦渋の決断

同窓会会長 柳川 一朗



新緑の心地よい候となりました。同窓会の皆様におかれましては陰に陽に同窓会に御支援を賜わり心より感謝申し上げます。

今年も平成22年県立秦野高等学校同窓会総会を平塚支部にお願ひして平成22年8月14日ホテルサンライフガーデンにおいて行う事になりました。沢山の皆様の御出席をお待ちしております。昨年は伊勢原支部のお骨折りで、平成21年8月22日伊勢原市民文化会館において、100名近い出席を頂き盛大に行われました。

その総会の報告に同窓会が健全な運営を行うために各支部から選出された32名の方々で運営委員会を作り3回にわたって御意見を伺いました。

内容は1健全な財務 2事務事業の見直し 3組織の見直しの3点でしたが、先ず財政問題で収入・支出のバランスを考えた時、総収入の3分の2を使用する会報紙「広陵」の作成発送の費用にかなり過ぎとの事で終身会員未納者には発送を止めるよう提言を受け、総会の席で報告を申し上げた所、賛成を頂きましたが、今年からすぐ停止する事は、今まで続けた事業が他校には無い立派な物で、会員全員にお届けするという事が大

変良い事と言われて参りましたので、この理由を広陵38号39号で良く説明し、来年の40号から停止に決めました。誠に苦汁の思いで一杯です。

その外に色々見直しもありますが、役員と良き協議をして何かの機会にお知らせ致します。

古くて新しい



「文武両道」

校長 南 敏 章

ます。在校生もクラブ活動や勉強に熱心で同窓会からの援助に感謝をして頂いております。最後に同窓会の皆様のご健勝ご多幸をご祈念申し上げます。摺と致します。

皆様も新聞紙上等でご存じの通り本校は、神奈川県教育委員会より「学力向上進学重点校」として研究指定を受けました。本校が伝統として掲げ、これまで地道に実践してきた「文武両道」が改めて教育委員会に認められたことと理解しております。

部活動の分野では、県内私学と対等に、あるいは対等以上に戦うことができる運動部をいくつか有し、これまで輝

かしい実績を上げてきたことはご案内の通りです。このたびの指定を機に「文」に光を当て、さらに「文武両道」に磨きをかけるべく、教職員一体となって生徒たちの学びの場を充実させるべく努力していきたいと考えております。

今年度もすでに、バスケットボール部、ソフトテニス部、陸上競技部が関東大会出場を決めるなど順調に滑り出しております。また地域貢献活動として通学路清掃、野球部の朝の清掃活動も継続されております。演劇部、弦楽合奏部、ストリートダンス部、チアリーダー部等の地域との交流も自然な形で位置付けております。

本校卒業生の輝かしい伝統を受け継ぎ、新たな「文武両道」を追求している本校現役生徒に温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

支部だより

小田原支部

杉崎幸正 (高2回)

小田原支部から皆様にお知らせするような話題はありません。何も活動しないで1年が過ぎる現状から抜け出す方法が無いものか、各支部からの明るい明るい話題や活動状況の便りが私達支部の頼りです。

4月の総会も終り、5月末に、総会の反省と親睦を兼ね1泊の箱根温泉で今後の活動の具体案等が討議されました。今秋11月、山北町の丹沢湖周回コースで実施されます県高校駅伝で、本校の連覇が期待されています。そこで「支部応援団を…」の意見がありますので、会員に呼びかけて

小田原支部応援団を結成し、丹沢湖で声援ができたならばと意気込んでいます。

伊勢原支部

吉野富夫 (高27回)

当支部の事務局長を拝命して1年余り経過しましたが、平成21年度は、支部長や役員のご指導を仰ぎ、支部会員のご協力もいただきながら、本部の準備を始めとする支部活動の事務局を何とか務めることができました。

昨年度は、房総の「新エネルギーパーク(富津火力発電所)」と特別天然記念物に指定されている「鯛の浦」への伊勢原支部恒例の研修親睦旅行を企画しました。

当日の参加者には、伊勢原を中心とする同級生で「大山会」を結成し、「ひと息いれて」という会報を年3回発行され、また、秦野高校の部活動への

支援活動などもされている小野田久夫氏もおられました。当日は、あいにくの小雨模様でしたが、同窓の支部会員の方々との親睦や交流が深められ、有意義な一日を過ごすことができました。

今後も、支部総会でも検討された支部活動の活性化と併せて、支部会員との交流などを通じた自己研鑽にも努めて参りたいと思っています。

南足柄支部

端山昭夫 (中18回)

南足柄支部においては、4月27日に支部の役員会を行い、支部総会を6月19日(土)に行うことを決定しました。当日は支部の事業と会計の承認と、例年恒例として行っている会員中の高校6回川口英夫氏に依頼し「液晶テレビとその部材について」の演題で講演を行

い、後に懇親会で親睦を深めることを予定しております。私たち会員は各種の職業につき、人生を送っています。そして喜びや苦しみながら色々の事を学び、経験を積み重ねながら今日いたっている訳です。それらの人々の話を聞くことは、私たちの人生に多くの事をもたらすことになると思っています。

ともすると職業は生活の方便であるように思われているが、私は生活の目的ではないかと思っています。「働くという」ことが、人生の価値であり、人生の歓喜であり、人生の幸福なのである」とある人が言っています。そこで違う職業の人の話を若い会員の方々に聞いていただきたいものだと思います。

秦野支部

渋谷富治夫 (中16回)

本支部には6千余人の卒業生があり、主な事業は、会員への「広陵」配布・地区長会議(東・西・南・北・大根本町)・視察研修会・総会です。「広陵」の配布は各地区役員

の協力があり、以前より各会員に手配りをしております。その發送料を支部運営の年間資金とし支部活動と親睦を目的とし有効に使用しています。地区長会議は年間3回、4

回開催し、同窓会本部と連携し、諸問題の検討や支部活動の行動について話し合っています。

視察研修会は、バス1台を借り上げ、1日行程で生涯学習施設・名勝旧蹟を訪ね親睦を深める場としています。

総会は1年の報告と今後の活動状況を話し懇親会を開催

しております。年々出席者も増して活気が出て来たこのごろです。また各地区には「広陵」配布により、地区育成費を配分し地区活性化・親睦を図ってもらっております。

悩みは、終身会費の未納者が4割強あり、1人でも納入者が増加するよう努力したいと思っております。

東京支部

飯尾美甫(高8回)

第13回支部総会は10月3日、母校校長、同窓会会長をお迎えて盛大に開催された。40歳から85歳までの参加者42名、女子は9名で今までになく華やいだ雰囲気になった。

開会前のOGとその仲間のミニコンサートがムードを盛り上げてくれ、「青春時代」には全員が手拍子も大きく高らかに合唱していた。

恙なく総会も終了。懇親会

は都心を一望しながら、洗練されたビュッフェ料理に歓談も弾んだ。次回は現役考慮の日時としたい。ぜひご参加を!



写真はグラントプリンスホテル赤坂(F40)トップ・オブ・アカサカにて

平塚支部

関 恒久(高19回)

平成21年8月8日の当支部の総会が平塚市民センター中

会議室で開催され、支部長に出陣高昭(高19回)氏が選任されました。実行力のある新支部長のもとに平塚支部の発展が期待されます。

支部総会では、支部長から母校本部役員や幹事会等の報告があり、支部会員から同窓会のあり方について意見が出された。また、母校同窓会総会及び第4回青春かながわ枝歌祭への参加要請がなされた。

同窓会のあり方については母校同窓会を含めて女性や若い同窓会員が参加できる同窓会が模索されていますが、伊勢原支部を会場に開催された母校の総会や「青春かながわ枝歌祭」でここ数年、他支部の女性会員の参加が増えています。平塚支部同窓会員の参加が望まれています。

平塚支部の発展に永年尽くしてこられました相談役の加藤憲(中15回)、佐草政勝(中

16回)の両氏が亡くなられました。ご冥福をお祈りいたします。

茅ヶ崎・藤沢支部

久保寺 勇(高13回)

同窓会名簿は平成18年に刊行されましたが最新刊です。移動や新しい方々の名簿がありません。学校の方では把握されていると思いますが現状の個人情報入手と連絡は非常にむづかしいと思います。新規会員の参加、連絡など問題点が多く個人の努力の限度を感じます。

昨年8月の総会でホームページの開設が御意見としてありました。また本部役員会でも提案しております。全県での支部再編も新組織には大変重要な要素です。現状の同窓会事務局では年1回の広陵発行しか会員に情報を流す手段ではありません。1年遅れの

連絡、報告などまったく意味のないことです。

同窓会に若い方々の参加と新組織を作る為にもホームページの開設が待たなします。

4月にホームページ立ち上げ準備委員会を設置し検討を重ね高13回卒の山口輝久氏(パソコン塾長)の協力をいただき、6月からテストランをスタートしました。是非御協力ください。



秦中・秦高在職中の思い出

新米教師の頃

平澤 博 (英)

(昭和44年、50年)

民間会社勤務後、通信教育で英語の教員免許を取り、初めて赴任したが秦高でした。当時の秦高は男子校で旧制中学的雰囲気の色濃く残り、個性に富んだ先生方が数多くいらつしました。

私は既に30歳になる年でしたが、第二の青春とばかりによく遊びよく学び(?)しました。1方メートル競走で一部生徒と走ったり、生徒と職員対抗のサッカーで転倒し手首の骨にひびが入ったり眼鏡を割ったり、またテニスに、スキーに、山岳部の引率にと忙しく体を動かしていました。英語はまだ学半ばの感があり、

隣の席の石井郷二先生に英文法の疑問点などで質問攻めにしていました。新宿の紀伊国屋書店に出かけてはせつせと原書を買ひ込んだものです。勉強中の未熟な英語教師で生徒たちには迷惑をかけました。

2年目からクラス担任になり純朴な生徒たちと良くまとまった学年団の先生方に恵まれ充実した3年間でした。九州への修学旅行は管理的に窮屈なこともなく、のびのびと楽しいものでした。その翌年は野球部が県大会優勝の快挙を遂げ盛り上がりました。部活は主に山岳部にお世話になりました。夏合宿では北アルプスの縦走など5回はお付き合いました。最も印象に残るものは後立山エリア縦走(連華温泉―朝日岳―雪倉

岳―白馬岳―遠見尾根)です。角田先生が一緒でした。唐松岳前の不帰の嶮は難所でした。1年生が10人位参加していました。各30キロからのザック等を背負つての鎖場、梯子等の連続。よく転落せずに通過できたものです。今、思い出してもぞつとします。

広畑が丘で新米教師を支えてくれた当時の素直な生徒諸君と、おらかな先輩諸先生と、元氣瀟刺の若い先生方と、自由な秦高の校風にあらためて感謝する次第です。乾杯!

よめかな思い出

伊藤 博 (理科)

(昭和61年、平成7年)

秦野高校に着任して新鮮に感じたことは、男子クラスがあったことです。2、3年生の化学を担当しましたが、授業も実験も活気があり、充実感があったことを覚えていま

す。当時の3年生は大人の風格があり、宿題を忘れた者に對して、手の甲をピンピン叩いて行くと、やつてある生徒も手を差し出して来るので、愉快でした。

部活動では、化学部員と夜遅くまで、線香花火や針穴写真機作りをして、失敗ばかりしていたことが懐かしいです。柔道部の顧問もいましたが、合宿で女生徒に次々と投げられてフラフラとなり、貧血を起こしたのも良い思い出です。

職員間の交流も濃く、放課後や休日に、囲碁、テニス、スキー等をしてよく遊び、そのお陰で、現在の自分がある」と感謝しています。

秦高での残念な思い出の一つは、スキー教室を中止したことです。体育科の先生の努力で続いて来た行事ですが、職員会議で中止と決定した時は、寂しい気持ちになりました。

た。今、スキーをする若者が減っていることを考えても残念です。もう一つは、グラウンドのプラタナスの幹の中に、野生のミツバチが巣をつくり、皆で喜んで見守っていたのですが、ある日、葉を散布されて全滅しており、ガツカリしたことです。

ミツバチはおとなしい蜂なだけに、かわいそうなことをするものだと、口惜しく感じました。

近況ですが、定年退職をした後、歯科衛生士の専門学校で、化学の授業を週1回担当しています。

それ以外はゴルフを始めました。秦高出身の西ヶ谷孝夫プロの教室に入り、教えてもらっています。レッスンではいつも、ドジ、ヘボ、根性無しと云われながらやっていますが、怒られる毎に秦高の縁を感じて、幸せな気持ちになります。

空晴れて 丘が畑が 秦中・秦高に想う

人は心

奥野主計（高2回）

私は3回泣いた。

1回目は終戦の翌日である。

1945年8月15日正午、

中2の私は塹壕掘り動員先で玉音放送をきいた。すずり泣く兵士達の声。だが敗戦など信じられず私達は翌日も動員先へ行った。その時始めて異

様な光景を見た。何とかかめしかった上官が帯刀もせず優しく「明日からは来なくていい。しっかりと勉強しなさい。さようなら」と言ってお別れした。小さなジャガイモを2個ずつ配ってくれた。今迄近寄り難かった上官の手に直接触られた私は、そこに弟を思う兄を見た。これが軍国主義との最後の別れになったのである。

2回目は卒業式当日の式後のH・Rである。出席番号順に呼名して証書を渡す担任の先生が、最後の順番の私の時絶句されたのである。呼ばれないまま私は先生に近づき両手を差し出した。その時かすかな声がかきこえた。かろうじて私の苗字だけを呼名して下さった堪えきれぬ先生の声だ。今、私はこの原稿を書くにあたり60余年ぶりに母校を訪れた。記憶に残るものは何も無かったが、部活を終えた生

徒達に会った瞬間私はハッとした。私をOBと知った制服姿の一回は、自転車を下り一礼してくれたのである。質実剛健の校風はまだ健在！私は溢れる涙を抑えきれなかった。「肩書き後輩達よ。文武両道で天与の稟質を更に磨き社会に雄飛してくれ」と祈りつつ私は母校に「一礼し去った。

昭和30年代前半

西野 祐（高12回）

昭和32年4月の入学。私は難波文夫先生のクラスであった。海軍兵学校・教育大出身の規律正しい先生であった。3年間変わらぬのクラス担任であり、数学の先生でもあった。授業も厳しかったが、受験への取り組みも1年生の時からハッパがかかった。当時の先生方に受験校に向けての意気込みがあつたように思え

た。スポーツマンの難波先生は文武両道を求められていたように思う。昼休みになると先生もグラウンドに出てソフトボールや野球に興じられた。先生自身は軟式テニス（ソフトテニス）が専門であったが、中学校時代の同級生に、あの巨人軍の名コーチ、牧野茂がいたとか、野球もうまかった。しかし、時に運動に夢中になり、学業が疎かになると部活の停止を求められることもあつた。

入学した昭和32年に、プールが竣工された。日本水泳連盟公認のプールとか、オリピック選手用の1500メートルの橋詰選手、2000メートルの鈴木選手らが来校し盛大なプール開きが行われた。3年になった昭和34年4月、皇太子・美智子妃（現天皇・皇后両陛下）の御成婚の年であつた。そして、卒業した昭

桐生先生の「呪文」

古木勝久（高22回）

和35年は、安保の年でもあつた。私たちの高校時代は、戦後復興の一つ段階を終えようとしている筋目の時期であつたように思われる。

学び舎を共にした仲間が集まると、話になるのが退職後の生活設計だ。畑を借りて家庭菜園をやるうか、それとも蕎麦打ち修行を、という話に沸く。

私たちの世代の多くは、『受験生ブルース』を歌い、ラジオの深夜番組で『友よ』『山谷ブルース』『遠い世界に』などを聴いた。時代は反戦平和、造反有理、大学解体などという言葉で括られる70年安保前夜の『熱い政治の季節』であつた。団塊の世代よりもやや『遅れてきた青年』で少し冷

めていた私は、何事にも無気力・無関心・無感動に近かった。クラスでは部活動に入る生徒は数えるほどで、私も「帰宅部」だった。目前の大学受験を控えながらも、焦るほど

学業に精を出していたわけでもなかった。鬱屈した心で世間をヤブ眺みし、一方で、なんて自分は「でくの坊」なんだと思っていた。頭はいつも〇×△□で、パンクしそうな

状況になることがあった。そんな中でいちばん実存感

を持っていたのは、校内1万メートル競走だった。桐生先生の「呪文」のようなお話を今でも覚えている。冬来たりなば春遠からじ。1万メートルは完走することに意義があり、おのずと屈強な肉体を作り、諸君が実社会に出て、いかなる苦難にも耐え得る精神を養うことである。「私は運良く3年間で3個の茶碗を獲得で

きた。今、あの茶碗がどこに

いてしまったのか分らないが、「呪文」は現在も私の心の

葉として残っている。

秦野高校の

思い出

後藤美佳（高42回）

高校を卒業してから、早くも20年近く経ってしまいました。

しかし、今でもたまに秦野高校の前を通ることがあります。正門の通りは、少し様変わりしましたが、バスを待つ姿など今でも変わらない秦野高生の姿を見かけることがあり、図々しくも、つい最近の出来事のようにいろいろ思い出が蘇ってきます。

私の高校生活は、卒業した中学が当時まだ新しく、人数も少なかったため、伝統のある校舎や人数の多さに、驚きやとまどいが一杯の中の始まりだったように思います。

最初は、電車で通学できるのが新鮮で、意気揚々と東海大学駅からの長い道程を友達と歩きました。最後の坂がき

つ、上りきった所に広がる畑が、今でも目に焼きついて

います。そんな道程が大好き

でしたが、部活が始まると、すっかりバス通学が変わってしまいました。私が入部した弓道部は、練習も厳しく、今思えば不思議な伝統もいくつかありました。その中で顧問の先生方や先輩方から多くのことを教えてもらいました。そして、何よりも楽しい時も辛い時もいつも一緒だった仲間と笑ったり泣いたりしたことは、私の高校生活の一番の思い出であり、

今でも本当に大切な存在です。そのような大切な物を一杯得られた高校生活に感謝の気持ちで一杯です。

自転車通学と

徒歩通学

梅原福司（中12回）

はじめに

我が第12回旧友会代表の故福山善雄氏が肝臓癌のため、東海大学病院で放射線治療と抗癌剤療法により治療されていましたが、2月に逝去されました。謹んで御冥福を御祈りいたします。（現在会員数14名）

昭和10年代の登下校の状況は、本校の特色として学区が広範囲であり、交通機関の未発達のため、登下校は自転車

の利用と徒歩通学でした。松田・山北方面の生徒は自

宅から乗車駅まで徒歩、松田駅から秦野駅下車、徒歩で学校へ約3時間もかかって通学しました。平塚方面は殆どの生徒が自転車通学でした。秦野の校地は標高約120mの

台地で周囲には急坂が多いのが特徴です。自転車の利用には苦勞が多かったことと思

います。当時の秦野町の生徒はすべて徒歩通学。南、東、北、西秦野村の生徒は自転車通学が許されていました。歩行中、乗車中は、それぞれ大きな声で挨拶を交わしました。

当時の「秦野・平塚道路」は、室川橋で左折しオケ分経由でした。金目川の右岸は広い田園地帯で季節感を味わうことができました。

3年間にわたる登下校の体験は精神の鍛錬、健康の増進におおいに役立ちました。また本校の校風である質実剛健の素地であったとも思います。



人物紹介

小椋 健司

【高30回 昭和53年卒 中井町在住】
東京消防庁英語通訳（麻布消防署・本庁
国際業務係・アジア消防長協会 勤務）

「人の役に立てる英語の実務につきたい」という思いで1988年、東京消防庁に入庁。現在、国際会議での随行通訳、消防専門雑誌・印刷物の日英・英日翻訳等を一手に引き受け、活躍しているエキスパート、小椋健司氏を紹介したい。



モンデール米駐日大使と 1993年

高校教諭から転職、東京消防庁の通訳・翻訳業務

小椋氏は1960年東京都

生まれ、1975年に秦野高校に入学。早稲田大学を卒業後、高校教諭等を経て、畑

違いの転職に踏み切った。当初、英語には精通していたものの、一般的な通訳と違って、

日常生活ではほとんど使用しない消防専門用語に大変苦労したという。転職というハン

ディをものもしない精神力のほか、並大抵の努力では成

しえない凄まじい研鑽があったからこそと想像に難くない。入庁後約1カ月間、消防全般に関する教育を受けたという。そのほか、実務的な消防用語や海外の消防事情を知るため、様々な情報を仕入れ、実践的な知識を叩き込んだ。今、彼は「英語を通して、人のために役に立った」と肌で感じ取っている。

国際会議での随行通訳や様々な翻訳業務

東京消防庁の正式な英語通訳は現在2名。彼の場合、勿

論、消防総監が出席する国際会議での随行通訳だけが仕事ではない。海外の消防専門誌

への寄稿記事の英訳、職員や翻訳業者が英訳したものをチェックし修正する「検訳」等

も大切な職務の一つである。また外国人向けの広報活動大使館を相手とした英語協定

文書の作成等も彼の任務である。意外な仕事に、毎年1月6日の「東京消防出初式」では、英語の実況中継も担当している。



アジア消防長協会オーストラリア会議 2006年

彼はアメリカの消防職員が日常的に使用している生の表現を取録・解説した「消防会話辞典」を作りたいと意欲的である。受験用でなく実務にあつた辞典を作るのが将来の夢だ。

彼の職業観ともいうべき「人の役に立てる職場で英語を生かしていきたい」という思いがあればこそ、そう遠くない時期に現実のものとなるであろう。

今後の小椋氏のご活躍に心からエールを送りたい。

*

参考資料：都政新聞録「NEW TOKYO」

（文責：編集部）

夢は、「消防会話辞典」を作ること

消防の資器材は日進月歩、新製品が開発され消防のシステムも進化していく。それだけに知識を蓄え、研鑽を続けなければならない。その反面

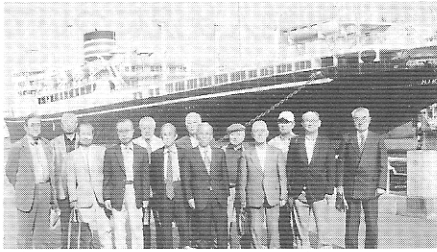


同窓会だより

中学校卒業

64年の語り

松本七郎 (中17回)



相当なご苦労をなされた方など、大変な時代を経た者たちばかりです。

横浜開催には、秦野、湘南地区と離れており、横浜市内で同窓会を開いてくれと強い要請があり、5名の横浜在住者と協議して、山下公園や横浜港内等が一望できる「ホテルモンテ横浜」を選びました。

会場の13階室で眺めが素晴らしく、皆さん大変穏やかに喜び合い、自らが歩んで来た人生を語り合い続けました。
【氷川丸バツクの記念写真】

傘寿の

元氣集う

根岸正好 (中19回)

何しろ、秦野中学校を卒業しまして今年で64年間も経ちました。同級生の中には、在校中に軍隊に入られた方、又卒業後、満州方面に渡り、

ら来た者や、顔と名前がなかなか一致しない人も、しばらく欲談するうちに在りし日の童顔にもどり、互いの無事を喜んだ。

乾杯後、1分程度の自己紹介に移り、学校生活・工場勤務の思い出や、その後の仕事身体の現況などが語られた。「二・三病息災」と言おうか体調に見合った活動をしている様子がかがえる。

欠席者からのハガキには通



院や不調の様子が窺えるものが目立つようで、いつもこの会合に皆勤の人も手術入院中で、残念とあつた。

この1年間に逝去された5名を含め、既に4割が他界されておられ、2割位の同窓が参集していることになる。

次回には1泊での提案もですが、秦野の幹事にお任せし、「広畑が丘」の斉唱の頃には、すっかり秦中健児の昔にかえり、意気盛んであつた。

同窓会事務局 からのお知らせ

同窓会本部では同窓会を開催する場合、祝金1万円を贈呈します。手続きは実施計画書・実施報告書(A4判1枚)を提出して頂きます。次の役員が窓口です。

●秦野市ひばりヶ丘5-23
榎本主治(事務局)

0463(81)7382

●平塚市南豊田539-3
関 恒久(副会長)

0463(34)5505

●伊勢原市上粕屋740-10
瀬戸洋四郎(支部長)

0463(94)2352

同期会への祝金

平成21年度贈呈同期会

●中17回 松本七郎(代表)

●中18回 松永幸夫(代表)

●中19回 根岸正好(代表)

●中20回 井上 薫(代表)

●中21回 富田敏郎(代表)

●高4回 関 操(代表)

●高6回 浅田忠男(代表)

●高15回 森 武(代表)



終身会費期別納入状況について

同窓会では、数年来会費の納入をお願いしてまいりましたが、実情がどうなっているかという点が不明確でしたので、ここに各期別の納入の状況を表にまとめてみました。なお、この数字は本年6月はじめまでの時点で、本部に寄せられたものです。実際と数字が異なる場合もあることをご確認ください。

期別会費納入状況

| 卒業期 | 現会員数 | うち不明 | 会費納入者数 |
|-----|------|------|--------|
| 中1 | 5 | 3 | 1 |
| 中2 | 5 | 3 | 0 |
| 中3 | 13 | 4 | 1 |
| 中4 | 7 | 2 | 5 |
| 中5 | 22 | 8 | 10 |
| 中6 | 11 | 2 | 4 |
| 中7 | 17 | 4 | 7 |
| 中8 | 14 | 2 | 4 |
| 中9 | 20 | 3 | 11 |
| 中10 | 24 | 7 | 15 |
| 中11 | 32 | 13 | 13 |
| 中12 | 31 | 8 | 17 |
| 中13 | 43 | 6 | 23 |
| 中14 | 35 | 2 | 20 |
| 中15 | 43 | 5 | 21 |
| 中16 | 55 | 10 | 26 |
| 中17 | 90 | 11 | 41 |
| 中18 | 93 | 12 | 42 |
| 中19 | 100 | 2 | 58 |
| 中20 | 103 | 8 | 59 |
| 中21 | 62 | 19 | 30 |
| 併1 | 46 | 12 | 21 |
| 併2 | 52 | 21 | 10 |
| 高1 | 35 | 5 | 19 |
| 高2 | 88 | 16 | 49 |
| 高3 | 117 | 23 | 52 |
| 高4 | 160 | 17 | 90 |
| 高5 | 141 | 22 | 65 |
| 高6 | 163 | 26 | 74 |
| 高7 | 155 | 21 | 69 |
| 高8 | 175 | 28 | 73 |
| 高9 | 169 | 32 | 61 |
| 高10 | 175 | 27 | 59 |
| 高11 | 176 | 36 | 68 |
| 高12 | 179 | 35 | 60 |
| 高13 | 183 | 32 | 69 |
| 高14 | 227 | 44 | 71 |
| 高15 | 201 | 48 | 60 |
| 高16 | 180 | 39 | 53 |
| 高17 | 276 | 52 | 79 |
| 高18 | 400 | 103 | 73 |
| 高19 | 349 | 91 | 73 |
| 高20 | 411 | 113 | 64 |

| 卒業期 | 現会員数 | うち不明 | 会費納入者数 |
|-----|--------|-------|--------|
| 高21 | 394 | 114 | 80 |
| 高22 | 382 | 91 | 72 |
| 高23 | 375 | 106 | 68 |
| 高24 | 354 | 116 | 49 |
| 高25 | 363 | 115 | 46 |
| 高26 | 363 | 109 | 52 |
| 高27 | 355 | 95 | 50 |
| 高28 | 347 | 104 | 63 |
| 高29 | 440 | 146 | 64 |
| 高30 | 441 | 158 | 69 |
| 高31 | 443 | 169 | 66 |
| 高32 | 430 | 163 | 53 |
| 高33 | 443 | 177 | 75 |
| 高34 | 431 | 153 | 73 |
| 高35 | 451 | 155 | 75 |
| 高36 | 451 | 134 | 84 |
| 高37 | 442 | 142 | 74 |
| 高38 | 456 | 118 | 74 |
| 高39 | 461 | 132 | 92 |
| 高40 | 491 | 137 | 86 |
| 高41 | 464 | 106 | 72 |
| 高42 | 464 | 120 | 97 |
| 高43 | 519 | 127 | 101 |
| 高44 | 513 | 116 | 108 |
| 高45 | 498 | 104 | 416 |
| 高46 | 440 | 98 | 321 |
| 高47 | 438 | 83 | 438 |
| 高48 | 438 | 75 | 438 |
| 高49 | 427 | 84 | 427 |
| 高50 | 423 | 65 | 423 |
| 高51 | 397 | 59 | 397 |
| 高52 | 396 | 57 | 396 |
| 高53 | 393 | 39 | 393 |
| 高54 | 399 | 36 | 399 |
| 高55 | 397 | 41 | 397 |
| 高56 | 353 | 22 | 353 |
| 高57 | 349 | 18 | 349 |
| 高58 | 353 | 16 | 353 |
| 高59 | 355 | 7 | 355 |
| 高60 | 303 | 11 | 303 |
| 高61 | 280 | 1 | 280 |
| 高62 | 344 | 0 | 344 |
| 合計 | 22,139 | 4,896 | 10,245 |

出身中学校別生徒数

| | | 平成21年度 (学区撤廃後) | | | | 平成14年度 (秦野伊勢原学区) |
|--------|----------------|----------------|-----|-------|-------|---------------------|
| | | 1年 | 2年 | 3年 | 計(全体) | 計(全体) |
| 秦野市 | 中学校名 | | | | | |
| | 本町 | 15 | 25 | 26 | 66 | 99 |
| | 東 | 6 | 8 | 11 | 25 | 64 |
| | 西 | 14 | 18 | 20 | 52 | 100 |
| | 南 | 9 | 15 | 11 | 35 | 44 |
| | 北 | 4 | 8 | 9 | 21 | 57 |
| | 大根 | 13 | 16 | 16 | 45 | 77 |
| | 南が丘 | 14 | 14 | 15 | 43 | 81 |
| | 渋沢 | 5 | 7 | 12 | 24 | 62 |
| 鶴巻 | 14 | 6 | 11 | 31 | 65 | |
| 小計 | 94 | 117 | 131 | 342 | 649 | |
| 伊勢原市 | 山王 | 11 | 13 | 19 | 43 | 70 |
| | 成瀬 | 19 | 12 | 18 | 49 | 65 |
| | 中沢 | 12 | 4 | 6 | 22 | 59 |
| | 伊勢原 | 17 | 18 | 23 | 58 | 73 |
| 小計 | 59 | 47 | 66 | 172 | 267 | |
| その他の市郡 | 平塚市 | 42 | 43 | 33 | 118 | 65 |
| | 中郡 | 3 | 3 | 2 | 8 | 5 |
| | 足柄上郡 | 41 | 28 | 29 | 98 | 69 |
| | 小田原市 | 60 | 45 | 30 | 135 | 18 |
| | 南足柄市 | 17 | 15 | 18 | 50 | 21 |
| その他 | 県内(厚木・足柄下他・私立) | 44 | 61 | 43 | 148 | 17 |
| | 県外 | 1 | 1 | 0 | 2 | 1 |
| 小計 | 208 | 196 | 155 | 559 | 196 | |
| 合計 | 361 | 360 | 352 | 1,073 | 1,112 | |

学区の変遷

- 昭和25年 (1950年) 秦野伊勢原学区
- 昭和38年 (1963年) 秦野伊勢原学区に平塚大磯が加わる
- 昭和56年 (1981年) 秦野伊勢原学区
- 平成17年 (2005年) 学区撤廃

「表紙スケッチ

学校造林の跡地

横溝英一 (中20回)

ヤビツ峠の少し手前、旧制中学の時代に、植林作業をした山だ。夏の間は下草刈りの仕事がある。のどかわきに耐え、蜂にさされながらの作業だった。

杉や桧の生えた斜面は、鹿よけの金網で今は出入りできない。

展望台ができていてハイカーも多く、「菜の花台」という地名になっている。

富士山や秦野盆地の眺望はすばらしく、鎌を持った旧制中学の少年たちの姿など、今やどこにも見あたらない。

先生も生徒も、みんな若かった頃の記憶だけが残っている。

平成21年度 部活動の記録 (県大会以上)

| 部活動名 | 大会名 | 結 果 | 部活動名 | 大会名 | 結 果 | | | |
|-----------------|--------------------|---------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|--------------------|-------------|
| 陸上競技部 | 全国高校総体 | 女子1500m 4分30秒61 | ソフトテニス部 (女子) | 関東大会県予選 | 個人ベスト32 | | | |
| | | 女子3000m 9分40秒63 | | 県選手権大会 | 個人ベスト32 | | | |
| | | 女子10位 (入賞に1秒差) | | 全国高校総体 | 男子100m平泳ぎ 予選1分6秒71 | | | |
| | 関東大会 | 男子3000m障害 予選9位 | | 関東高校水泳競技 大会 | 男子100m平泳ぎ 予選1分5秒20 全国大会出場 | | | |
| | 関東高校総体 | 女子3000m 4位7位 女子1500m 6位7位、出場 | | 水 泳 部 | 高校総体県予選 | 男子100m平泳ぎ 予選1分5秒34 10位 関東大会出場 | | |
| | 関東高校駅伝 | 女子3位 | | | 関東個人選抜大会 国体県予選 | 女子個人出場 男子個人3位 | | |
| | 県陸上競技大会 | 男子槍投げ5位 | | | 関東個人選抜県予選 | 女子個人3位 関東大会出場 | | |
| | 柔道部 | 高校総体県予選 | | 女子ハンマー投げ1位 女子槍投げ4位 2種関東大会出場 | 弓 道 部 | 全国高校弓道選抜 大会県予選 | 男子個人2位 全国大会出場 | |
| | | | | 女子ハンマー投げ1位 女子100m 3位 | | | 新人戦 | ブロック優勝 |
| | | 神奈川選手権 | | 男子3000m障害6位 関東大会出場 | サッカー部 | 関東大会県予選 | ベスト4 | |
| | | 神奈川県総合 体育大会 | | 女子800m 8位 女子1500m 1位2位3位 女子3000m 1位2位 上記2種関東大会出場 | | 高校総体県予選 | ベスト16 | |
| | | 硬式テニス部 (男子) | | 全国高校総体 | 女子1500m 1位2位8位 女子3000m 1位3位 | 柔 道 部 | 全国高校サッカー 選手権県予選 | 3位 (県立で唯一校) |
| | | | | | 女子1位 全国大会出場 | | 高校総体県予選 | 個人出場 |
| | | | | 関東高校駅伝 | 女子1位 全国大会出場 | | 団体県予選 | 少年男子の部個人出場 |
| 県新人戦 | | | 女子1500m 1位2位8位 女子3000m 1位3位 | 体重別団体新人 柔道大会 | 団体出場 | | | |
| 硬式テニス部 (女子) | | 全国高校総体 | 女子800m 8位 女子1500m 1位2位3位 女子3000m 1位2位 上記2種関東大会出場 | 卓 球 部 | 関東大会県予選 | 女子団体ベスト8 | | |
| | | | 女子1500m 1位2位8位 女子3000m 1位3位 | | 高校総体県予選 | 男子個人ベスト32 | | |
| | 関東高校駅伝 | 女子1位 全国大会出場 | 関東大会県予選 | | 女子個人ベスト32(2名) | | | |
| | 県新人戦 | 女子1500m 1位2位8位 女子3000m 1位3位 | 高校総体県予選 | | 女子団体ベスト8 | | | |
| ソフトテニス部 (男子) | 全国高校総体 | 女子1500m 1位2位8位 女子3000m 1位3位 | バスケット ボール部 (男子) | 関東新人大会県予選 | ベスト8 | | | |
| | | 女子1500m 1位2位8位 女子3000m 1位3位 | | 関東大会県予選 | ベスト8 | | | |
| | 関東大会県予選 | シングルス ベスト4 関東大会出場 団体戦 ベスト16 | | 高校総体県予選 | ベスト12 | | | |
| | 県新人大会 | シングルス ベスト32 ダブルス ベスト32 | | 県高校新人大会 | ベスト8 | | | |
| ソフトテニス部 (女子) | 全国高校総体 | シングルス 16位 ダブルス 16位 ダブルスベスト64 団体16位 | バスケット ボール部 (女子) | 関東大会県予選 | ベスト16 | | | |
| | | 個人2回戦進出 | | 高校総体県予選 | ベスト8 | | | |
| | 関東高校ソフトテニス | 個人ベスト16 他に出場2組 | バレー ボール部 (女子) | 高校総体県予選 | ベスト32 | | | |
| | 関東大会県予選 | 個人5位関東大会出場 個人9位関東大会出場 個人9位関東大会出場 | | 野 球 部 | 春期県予選 | 2回戦進出 | | |
| 高校総体県予選 | 個人1位全国大会出場 団体3位 | 弦楽合奏部 | 夏期県予選 | | 3回戦進出 | | | |
| 県選手権 | 個人2位 個人ベスト8 | | 合 唱 部 | 全国高校総合文化祭 | 管弦楽初出場 | | | |
| 茶 道 部 | 全国高校総体 | 個人5位関東大会出場 個人9位関東大会出場 個人9位関東大会出場 | | か る た 部 | 高文連小倉百人一首 かるた | 県代表選手権考会出場 | | |
| | | 個人1位全国大会出場 団体3位 | 県高校小倉百人一首 かるた | | 選手権大会出場 | | | |
| | 関東大会県予選 | 個人5位関東大会出場 個人9位関東大会出場 個人9位関東大会出場 | 合 唱 部 | NHK全国学校音楽 コンクール | 奨励賞 | | | |
| | 高校総体県予選 | 個人1位全国大会出場 団体3位 | | 高文連高校生茶会 | 会長賞 | | | |
| 県選手権 | 個人2位 個人ベスト8 | 茶 道 部 | 高文連高校生茶会 | 会長賞 | | | | |

全国大会派遣 支援活動報告

同窓会会長 柳川一郎
生徒の全国大会支援活動は
実行委員会（委員長 塩田博）
によって運営されていました
が、平成21年度から同窓会が
引き継ぐことになりました。
21年度の各種全国大会出場生
徒は次の通りです。

- 全国総合体育大会
 - ・男硬式テニス 榊原健一
 - ・男100m平泳 佐藤剛士
 - ・男硬式テニス 谷安藤組
 - ・女陸上1500m 雨宮みずき
 - ・女陸上3000m 黒田麻紀子
- 全国高校女子駅伝選手8名
- 全国高校総合文化祭
管弦楽部員16名

●全国高校弓道大会福山人
同窓会員皆様のご支援、ご
協力に厚くお礼申し上げます。
引き続き、ご援助を賜ります
ようお願い申し上げます。

会計報告

| | |
|----|----------|
| 収入 | 756,707円 |
| 支出 | 531,936円 |
| 残金 | 224,771円 |

| 収入の部 (単位/円) | | |
|-------------|---------|--------|
| 項目 | 金額 | 備考 |
| 繰越金 | 120,707 | 20年度残金 |
| 21年度派遣支援金 | 636,000 | 88名 |
| 合計 | 756,707 | |

| 支出の部 | | |
|-----------|---------|--------------------------|
| 項目 | 金額 | 備考 |
| 振込用紙印刷費 | 18,000 | 17,900枚×1円十手数料100円 |
| 礼状会計報告印刷費 | 596 | |
| 振込料負担金 | 10,300 | 80円×17名 120円×69名 330円×2名 |
| 礼状・会計報告送料 | 7,040 | 80円×88通 |
| 派遣支援金*1 | 496,000 | |
| 合計 | 531,936 | |

*支出の部

| 部活名 | 金額 | 備考 |
|------------|---------|--------------|
| 男子テニス | 12,000 | 全国高校総体 |
| 陸上競技部(長距離) | 72,000 | 全国高校総体 |
| | 207,000 | 全国高校駅伝競争大会 |
| | 40,000 | 全国都道府県対抗女子駅伝 |
| 水泳 | 3,000 | 全国高校総体 |
| 男子ソフトテニス部 | 48,000 | 全国高校総体 |
| 管弦合奏 | 96,000 | 全国高校総合文化祭 |
| 弓道部 | 18,000 | 全国選抜大会 |
| 合計 | 496,000 | |

平成21年度支援者（敬称略）

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|
| 高2 藤間利男 | 高2 高橋初男 | 高1 矢野恒雄 | 高1 宅見義平 | 中20 中野和雄 | 中20 鍛代和彦 | 中20 森田和夫 | 中20 原 仁悟 | 中20 小宮孝司 | 中19 熊沢弘雄 | 中19 府川新平 | 中19 小林純一 | 中18 榎本博行 | 中17 柳川三郎 | 中17 松本悦雄 | 中16 滝川栄藏 | 中16 高梨久義 | 中15 石原正三 | 中15 齋藤四郎 | 中13 加藤好男 | 中12 濱田勝彌 | 中11 渡辺元彦 | |
| 高12 宮本敏明 | 高12 多田孝文 | 高11 鷄飼 武 | 高10 古宮邦雄 | 高10 久保田勉 | 高10 大塚忠雄 | 高9 大津 豊 | 高9 相原宏通 | 高9 府川道明 | 高8 永井 保 | 高7 石田憲正 | 高6 内藤正徳 | 高5 今井義人 | 高5 成瀬俊雄 | 高5 石井 智 | 高5 栗原重雄 | 高5 小林 充 | 高5 額田幸也 | 高4 柳川幸市 | 高4 澤 明 | 高4 福住正道 | 高4 亀崎 進 | 高3 青地 昇 |
| 高26 大勝勝寿 | 高26 小泉司郎 | 高25 渡部英明 | 高24 北村輝夫 | 高22 栗原敏郎 | 高20 高橋賢二 | 高19 高橋勝美 | 高19 鈴木重雄 | 高18 佐野友保 | 高18 土屋充男 | 高17 大村真生 | 高16 滝田信一 | 高16 刈籠光男 | 高16 島田 繁 | 高15 比野福治 | 高15 日野福治 | 高15 天津 洋 | 高14 高橋全治 | 高14 松岡滋治 | 高14 荒井勝哉 | 高13 古谷嘉久 | 高13 高橋芳照 | 高12 細川欣勇 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 高27 吉田敏幸 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 高28 望月 武 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 高29 中根千恵美 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 高33 桂川真一 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 高34 近藤政彦 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 高35 田村弘幸 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 高36 内藤篤史 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 高37 井上示恩 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 高40 大橋 崇 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 高43 鈴木善明 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 高44 吉田信貴 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 高47 森田基樹 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 高43 水城明子 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 高44 吉田信貴 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 高47 森田基樹 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 高47 小澤将洋 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 高58 小泉陽菜 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 高58 目 良一 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 高59 吉宮久美子 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 在校生 田口真紀 |



母校2009年度 —平成21年度の進学状況と 今後の取り組み—

キャリア教育支援グループ 中川敏晴

種学校の中に海上保安大学校への進学者1名も含まれています。(具体的な大学・短大等への進学状況は17ページをご覧ください。)

さて、平成21年度卒業生は、前年度卒業生より1クラス増加した9クラス規模の学年でした。また、本校で初めて特別選択クラス(1・2年次に設置)が導入され、7校時の補填授業、土曜日講習を行ってきた学年でもあり、その動向が注目されていました。ここで、この学年が初めて卒業を迎えることになり、合格実績という点でその真価が問われることになりました。

平成21年度卒業生3552名の進路状況を報告いたします。
4年制大学進学者268名(76・1%)、短期大学進学者14名(4・0%)、専修・各種学校進学者16名(4・4%)、就職者0名(0%)、進学準備等54名(15・3%)。以上が平成21年度卒業生の進路内訳です。なお、今回は、専修・各

結果的には、昨年度、減少してしまった国立大学合格者数については、11名から18名へと若干の回復が見られるなど、健闘がうかがえました。その内容を見ますと、合格者18名の内、13名が特別選

択クラスに所属していた者でした。かたや、早稲田、慶応、上智、東京理科大といった難関校についても、合格者総数の6割を超える者が特別選択クラスに所属していた者で、そのことから特別選択クラスへの導入が果たした役割は大きく、一定の成果を上げることができたと言えます。

現役生全体を見ても、平成21年度は前年度に比べ、合格者実績が回復傾向にあります。特徴としては、センター利用での私大合格者が多かったことが挙げられます。

かたや、指定校推薦による合格者は、平成20年度に増加した勢いのまま、平成21年度もほぼ横ばいの状態でした。担任や学年全体としては、生徒には安易に推薦を選択するのではなく、より高みを目指させ、叱咤激励を繰り返していますが、生徒の思惑と合わ

ない場合もあり、このあたりのところは、毎年、指導の難しさを感じるところでもあります。しかし、最後まで諦めずに、難関校合格を勝ちとつた生徒中にもおり、最後まで頑張り抜く姿勢を生徒に持たせ続けることの大切さを感じます。

さて、本校はこのたび「学力向上進学重点校」の指定を受けました。今後は、来年度に向けて教育課程の見直し等が行われていく予定ですが、しいては、大学進学実績の向上も求められていくことになるでしょう。キャリア教育としては、従来の内容を継承・発展させる形で、9月には、東海大学との高大連携を活用した大学訪問・体験授業を1・2年生に実施する予定です。特に、2年生においては、総合学習にこの体験授業を関連づけることを企図しています。

2009年度(平成21年度)卒業生の大学・短大進学状況

| | 合格者 | 入学者 | 入学者内訳 | | | |
|-------|----------|-----|-------|-------|------|------|
| | | | 一般入試 | 指定校推薦 | 公募推薦 | AO入試 |
| 国公立大学 | 18 | 15 | 12 | 1 | 2 | 0 |
| 私立大学 | 604(107) | 252 | 146 | 76 | 18 | 12 |
| 短期大学 | 16(1) | 14 | 7 | 5 | 1 | 1 |

()はセンター試験利用合格数

また、PTAとの協力事業として、1年生には「職業人講話」、2年生には「大学学部学科研究」、3年生には「進路講演会」を開催しますが、これは例年どおりです。
私たちは、今後もさまざまな取り組みを通じて生徒の進路実現のためのサポートをしていきます。同窓会の皆様にもご理解とご支援をお願い申し上げます。

2009年度 主な大学・短大合格者延べ数

| 大学名 | 現 | 卒 | 大学名 | 現 | 卒 | 大学名 | 現 | 卒 |
|---------------------|----|---|---------------|----|----|-------------------|-----|---|
| 国立大学(4年) | | | 工 学 院 大 | 4 | | 法 政 大 | 43 | 6 |
| | | | 國 学 院 大 | 17 | 1 | 明 治 大 | 26 | 5 |
| お茶の水女子大 | 1 | | 国 士 館 大 | 6 | | 明 治 学 院 大 | 22 | 4 |
| 筑 波 大 | 2 | | 国 際 医 療 福 祉 大 | 7 | | 立 教 大 | 11 | 6 |
| 山 形 大 | 1 | | 駒 澤 大 | 25 | 1 | 早 稲 田 大 | 7 | 2 |
| 東 京 海 洋 大 | 2 | | 相 模 女 子 大 | 4 | | 武 蔵 野 大 | 3 | |
| 東 京 農 工 大 | | 1 | 湘 南 工 科 大 | 1 | | 東 京 医 療 保 健 大 | 2 | |
| 東 京 外 国 語 大 | 1 | | 女 子 美 術 大 | 1 | | 横 浜 薬 科 大 | | 1 |
| 東 京 学 芸 大 | 1 | | 芝 浦 工 業 大 | 4 | | 短期大学(私立) | | |
| 横 浜 国 立 大 | 3 | | 上 智 大 | 7 | | 大 妻 女 子 短 大 | 1 | |
| 静 岡 大 | 2 | | 昭 和 女 子 大 | 2 | | 青 山 学 院 女 子 短 大 | 2 | 1 |
| 公立大学(4年) | | | 昭 和 薬 科 大 | 2 | | 相 模 女 子 短 大 | 1 | |
| 横 浜 市 立 大 | 3 | | 成 蹊 大 | 5 | 1 | 共 立 女 子 短 大 | 1 | |
| 神 奈 川 県 立 保 健 福 祉 大 | 1 | | 成 城 大 | 12 | 4 | 湘 北 短 大 | 1 | |
| 首 都 大 学 東 京 | | 1 | 専 修 大 | 39 | 9 | 上 智 短 大 | 5 | |
| 前 橋 工 科 大 | 1 | | 拓 殖 大 | 3 | | 東 海 大 医 療 技 術 短 大 | 2 | |
| 私立大学(4年) | | | 玉 川 大 | 18 | 2 | 洗 足 学 園 短 大 | 1 | |
| 青 山 学 院 大 | 24 | 7 | 中 央 大 | 27 | 9 | 国 学 院 短 大 | 1 | |
| 麻 布 大 | 2 | 3 | 帝 京 大 | 9 | 1 | 東 京 家 政 大 短 大 | 1 | |
| 桜 美 林 大 | 23 | | 帝 京 平 成 大 | 6 | | 大 学 校(公立) | | |
| 学 習 院 大 | 3 | 1 | 東 海 大 | 25 | | 海 上 保 安 大 学 校 | 1 | |
| 神 奈 川 大 | 27 | 6 | 東 京 工 科 大 | 3 | 1 | 国公立大学 | | |
| 神 奈 川 工 科 大 | 8 | | 東 京 都 市 大 | 26 | 1 | 私 立 大 学 | | |
| 鎌 倉 女 子 大 | 3 | | 東 京 農 業 大 | 20 | 1 | 短 期 大 学 | | |
| 関 東 学 院 大 | 7 | | 東 京 薬 科 大 | | 1 | 大 学 校 | | |
| 北 里 大 | 9 | 1 | 東 京 理 科 大 | 8 | 1 | 合 計 | | |
| 慶 應 義 塾 大 | 3 | | 文 教 大 | 3 | | 18 | 2 | |
| 杏 林 大 | 3 | | 東 洋 大 | 13 | 2 | 604 | 99 | |
| | | | 日 本 大 | 38 | 11 | 16 | 1 | |
| | | | 日 本 女 子 大 | 1 | | 1 | 0 | |
| | | | | | | 639 | 102 | |

叙 勲

おめでとうございます

(敬称略)

高齢者叙勲 瑞宝双光章

梅原福司(中12回)

(元横浜市立三ツ境小学校長)

奥津光弘(中20回)

2009~2010年度の国

際ロータリー第2780地区

ガバナーに選任

春の異動

次の先生方が転退職されました。長い間、ありがとうございました。(敬称略)

【退職】

木村 実

【転任】

稲本 隆(大和東)

白井 俊次(平塚中等教育)

押野 裕(生命の星)

地球博物館)

亀井 重信(平塚江南)

岸 美佐江(二宮)

掛原登志子(厚木清南)

北尾英夫(二宮)

倉田慎一(総合教育センタ)

1) 香川弘光(吉田島総合)

異動の

連絡通知を

本誌P12の納入状況表で、ご覧のように、不明者の数が多くなっています。その原因としては、転居先住所が本部に未通知であること、現在使用されていない旧住居表示であることなどが考えられますが、他に会員の死亡などの場合があります。異動が生じた時は、ご面倒でも本部までハガキや電話などでご連絡をお願いいたします。

原稿を

お寄せください

同期会、クラス会などよりなごの原稿を700字以内でお

寄せください。また、個人の近況など、短くても結構です。送付先 秦野高等学校同窓会 担当宛

物故者

慎んでお悔やみ申し上げます。

【旧職員】(敬称略)

西 満寿雄 高橋 繁蔵

青木 政雄 仲田 稔

石田 守昭 菅野 喜則

諏訪 哲夫 大島 則次

手塚喜一郎

【会員】(敬称略)

中2 茅沼保次 中15 加藤 慧

中3 山崎金司 中15 長崎 崇

中4 加藤正二 中16 安藤清嗣

中6 市川正雄 中16 佐草政勝

中6 横溝靖男 中17 福沢 博

中10 鶴若寿雄 中17 平田三郎

中12 伊東義雄 中17 武藤 護

中12 酒井 持 中17 柳川敏雄

中12 福山善雄 中18 瀬戸達雄

中13 北村信夫 中18 水島敏夫

中14 高橋 勉 中19 井上勝夫

中19 小宮敏克 高5 早川孝平

中19 島田恒夫 高6 山口 広

中19 猪俣貞敏 高7 柴崎 亨

中19 奥津 栄 高8 白見良平

中19 桐生八代 高8 大本俊二

中20 石原 栄 高9 古谷友良

中20 石原移幹 高10 江原忠次

中20 佐藤久之 高11 宮原 栄

中20 寺尾尚英 高11 秋本テイ

併1 桐山貞夫 高13 大津一男

併2 原 武志 高14 横溝 保

高2 中村栄一 高16 大仏昌文

高2 宇山方夫 高16 佐藤久雄

高2 原田正志 高19 柴原 豊

高3 石井不男 高22 吉川光夫

高4 今井三雄 高22 小泉佳郎

高4 及川 孝 高28 石田 直

高4 浜野徹三 高29 村山三紀

〒257-0004

秦野市下大概一・二三番地 県立秦野高等学校内

電話(0463)771-1421 振替口座 00120018226889

発行責任者 柳川一孝(高1)

榎本圭治(高2)

青木利之(高4)

高30 横溝隆司 高35 高梨恭次

高34 山口尚子 高39 岩井真理子

編集後記

●運営検討委員会の提言に基づき、39年間にわたって発行してきた「広陵」の全会員への配布を40号(次号)から変更することになりました。●今号では多少企画に変化を持たせました。

●同窓会のホームページを試行的に6月1日から開設しました。URLは、<http://kouyunkai.kan-de.com/>「広陵」への影響は…。(青木)

秦野高等学校同窓会

会 報 委 員 会

永山孔昭(高6)

小泉広澄(高17)

山口知英(高33)